東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ　ロータリー：変化をもたらす

ロータリー：変化をもたらす

Vol.51　第2490回例会　2018.4.19

今年度会長テーマ　行動すれば何でも出来る！希望を持って取り組もう！

■司会：村田会員

■点鐘・会長挨拶・会務報告　石山会長

台湾への寄付金を2週に渡り行いました。総額32000円をガバナー事務所へ送らせて頂きます。先日の日曜日に東村山消防少年団の入団式に参加しました。低学年から高校生までの団員が規律正しく式を終え、感動しました。

今日は、地図の日です。伊能忠敬が北海道を測量する為に、一歩を踏み出した日で、この時56歳でした。

■合唱：ロータリーソング「日も風も星も」
◆ソングリーダー：村田会員

■幹事報告　岩原幹事

■ガバナー事務所（練馬中央RC）→会長・幹事
地区研修協議会の参加のお礼状受理
■（一財）バギオ基金→野村評議委員
第9回臨時評議会の開催について
2018年5月25日（金）　16時～　弘済会館
■バギオ基金支援特別委員会
→会長・幹事・国際奉仕・プログラム各委員会
地区バギオ基金支援特別委員会より卓話依頼のお願いについて
卓話依頼期限　2018年6月30日
■東京青梅ロータリークラブ→会長・幹事
植樹式の案内について　平成30年5月14日（月）
集合午前11時　青梅市役所
■東村山市国際友好協会→会長
姉妹都市提携40周年記念式典の案内について
6月9日（土）　午後6時～　北庁舎
■東村山青年会議所→会長
第37回わんぱく相撲東村山場所の案内について
平成30年5月20日（日）　9時30分　東村山市民スポーツセンター
■回覧：ハイライトよねやま

■出席報告　鈴木会員

■会員数：30名　■欠席：8名　■本日の出席者：20名
■出席率：71.43%　■前々回出席率（修正後）：82.14%

■ニコニコBOX　北久保会員

■皆出席：
北久保会員（5回目）

◆石山会長・岩原幹事：本日は新入会員歓迎会です。みんなで盛り立てて大いに楽しみましょう。卓話、地区研修協議会報告よろしくお願いします。
◆平野会員：戸澤さん、岩原さん、昨日は一緒にラウンドしていただきありがとうございます。
◆戸澤会員：昨日の水曜会、平野さん優勝おめでとう。平野さんのアドバイスでドライバーが曲がらなくなりました。
◆野村会員：あと2ヶ月、頑張りましょう。私も地区バギオ基金委員長として卓話行脚に出ます。
◆山本会員：写真ありがとうございました。

●合計：16,000円　●累計：1,153,000円

■委員長報告

■歩こう会　北久保実行委員長
4月15日発行の市報にハッピーライフ支援プロジェクトが掲載されました。実施は5月26日八坂駅前スタートです。資料を現在作成中です。完成次第皆様へ配布します。現在登録が20名弱です。チラシもありますので動員をお願い致します。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30
■例会場／八坂神社 社務所
〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1
■クラブ管理委員会／中條　基成
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500　FAX 042-395-1166

■中條クラブ管理委員長

次年度へ向けての委員長会と炉辺会合のお知らせです。委員長会を5月10日(木)18時30分から東村山「源八」で行います。また、クラブ奉仕部門を対象に5月17日(木)18時30分「割烹あづま」にて、五大奉仕部門を対象に5月18日(金)18時30分「焚き火」にて、それぞれ開催します。本日、18時30分より「久米川義」にて新入会者歓迎会を行います。

■山本ロータリー財団委員長

皆様のご協力で次年度の田中会長の時に、地区での表彰を受ける事ができる可能性が出てきました。

■卓話(地区研修報告)

■田中会長エレクト

国際ロータリー　ベリー・ラシン会長は、「インスピレーションになろう」と言っています。2580地区松阪ガバナーはターゲットと表現し「研修」と「活性化」掲げました。その流れをくみ私の次年度テーマは「感謝の心をわすれず基本、地域、社会を大切に」を掲げさせて頂きます。住むところも無く困窮したインドのご婦人の話で、ロータリークラブが住むところを提供するプロジェクトを立ち上げた。そこから人生が変わり、将来に希望が持てるようになった。自分の原点でもある、ロータリーに対する感謝の心です。基本は、ロータリーの3原則で「会費の納入」「例会への参加」「ロータリーの友の熟読」です。「親の恩」「師の恩」「社会の恩」とあり地域、社会を大切にを入れました。次年度は3本の矢を考えています。第一の矢は、例会の充実、出席率の向上を図ります。第二の矢は、地域社会へのロータリー活動のアピール。第三の矢は、会員増強に努めます。

■中條次年度幹事

4月12日ハイアットリージェンシー東京にて、2017-18年度地区研修協議会プログラム「インスピレーションになろう」が行われました。バリーラシン国際ロータリー会長エレクトの挨拶文を紹介します。113年前の創設以来、ロータリーの役割は、絶えず進化してきました。ロータリーの初期は、会員が親睦と友情を見つけ地域社会で人々と繋がりを築く方法を提供して来ました。その後、奉仕が芽生え、ロータリー財団の支えもあって世界中の家族や地域社会の人々の生活を変えていくようになりより成果を高める為に、他団体との協働や各国政府、国際団体と協力し世界最大の官民協同による保険の取り組み、ポリオ木越にも乗り出しました。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現する為に、前向きな変化を生み出し、私たちが今回直面する課題に、勇気と希望、そして、創造性を持って正面から立ち向かう意欲をクラブ、地域社会、組織全体から引き出す為の「インスピレーション」となる必要があるのです。

また、松阪第2580地区ガバナーエレクトより挨拶で、次年度のターゲットとして「研修」と「活性化」です。「研修」は、3年計画で事業を継続して行います。「活性化」はクラブの活性化並びに地区の活性化に取り組みます。とありました。

■戸澤会員研修委員長

土居岩生研修サブリーダーによりRIの現状報告。戦略計画とクラブの活性化について。RLI(ロータリーリーダーシップ研究会活動)1ステージ6時間で3ステージで卒業。7、8人でディスカッション。リーダーは一人一人の発表をさせる手伝いをして、リーダーのみなさんの意見をまとめるが、結論を出さない。ロータリアンは、それぞれ価値観が違うので、その場合は、そのような考えもあると認めさせる。RI戦略計画は、世界の会員が120万人から増ええていない。RIは、人頭分担金増やそうとして、値上げをしようとしているが、日本は歯止めをかけようとしている。

公共イメージとロータリー認知度を上げるために、全国の主要な都市のオーロラビジョンでロータリーを宣伝したが、効果が出なかった。各クラブの現状。ロータリー財団の寄付額は、中国と韓国の留学生に多くのお金を使っている。中国や韓国の教育は日本人の事を正しく教育されていない。ロータリーの寄付は、海外に多いが地元の自治体や内向きな寄付をした方がいいと思う。若い会員が増えたら古い会員の居場所がなくなり会長が終わると辞めてしまう。

■當麻会員
(小町R財団委員長代理)

次年度も寄付の目標は、230ドルです。次年度もよろしくお願いしますとのことです。内訳として、年次基金が150ドル、恒久基金に30ドル、ポリオプラス基金に30ドル、ロータリー平和センターへ20ドルで230ドルです。全員が30ドル以上の寄付をお願いしたい。EREY(エブリロータリアン・エブリイヤー)浄財として、皆様からのお金を集めます。

■相羽米山奨学会委員長

地区主催の米山関係行事に参加し奨学生との交流に務め、事業の意義と感動を自分の言葉で語れるようにする。会員の事業への理解を促すため、米山月間(10月)には関係プログラムを企画する。広報活動のためのツールとして(米山記念奨学会DVDシリーズ、事業紹介、学友版寄付の増進。地区米山記念奨学委員会の寄付明細表で寄付金動向を把握し寄付金額が前年を下回らないよう努めてくださいとのことです。特別寄付、創立記念寄付など寄付増進を図る。奨学生、学友との交流促進と広報。世話クラブでは、奨学生を受け入れる前に、意義と役割を周知徹底し奨学生と会員の交流が深められるように努め、クラブ全体で奨学生を受け入れてください。過去に世話した学友の活躍ぶりをカウンセラーとともに情報収集し広報するように。奨学生や学友をクラブに招いたり広報DVDを活用し、奨学事業の意義を具体的に実感できる機会を設ける。

■謝辞・閉会点鐘：石山会長